
平成30年度第2回福祉のまちづくりモデル地区推進部会 議事録

平成31年3月25日(月) 10:00～ 11:30 浦和区保健センター3階講座室

出席者 : 臼井委員、小川委員、鯨井委員、國松委員、桑田委員、武田委員、町田委員

欠席者 : 上松委員、佐々木委員、丸山委員

関係団体 : 阿由葉(さいたま市社会福祉協議会)、志満・田中(さいたま市社会福祉事業団)、
宮澤、渡邊(特定非営利活動法人ライフアシスト Familish)

事務局 : 細沼、石川、石山(福祉総務課)

会議の公開 : 公開

傍聴人 : 0人

問合せ先 : 保健福祉局福祉部福祉総務課 048-829-1254

※敬称略

【次第】1 部会長の選任

2 開会

3 議事

(1)平成30年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業活動について

(2)平成31年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業(案)について

4 その他

5 閉会

【内容】

1 部会長の選任

委員の互選により桑田委員を部会長として選任

2 開会

3 議事

(1)平成30年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業活動について

事務局 資料1の説明(省略)

桑田部会長 ただいま、事務局から平成 30 年度の活動報告について、ご説明をいただきました。委員の皆様には、事業に参加された方や、講師を務めていただいた方がいらっしゃいますので、お一人ずつ感想や意見等をいただければと思います。

武田委員 私は、まち歩き学習、新都心のまち歩き学習、学習発表会に参加させていただきました。今回、初めて参加させていただきましたが、関係者の皆様の協力があって、各学習ともに非常にスムーズに行えていたと思います。発表会では、学校も先生方の指導も含めて、4年生とは思えないほど素晴らしい発表でした。このような活動をぜひ積極的に進めていただき、また、私

も積極的に今後も参加させていっていただきたいと思っております。

小川委員 視覚障害者福祉協会の小川です。今回は、体調不良もあり、ふれあい学習、さいたま新都心駅周辺のまち歩きについては参加することが出来ませんでした。ふれあい学習や新都心まち歩き学習では、私とは別に講師として参加した者がいますが、いろんなことを子どもたちに十分に伝えることができなかったのかなと感じた点がありました。学習発表会では、子ども達が発表の時に間違っただ話をするところがありました。たとえば、ガイドをするときには肩を組んで歩くと言っていたが、そのようなことは絶対にしません。そのときは、児童、保護者の前で正しく伝えましたが、間違っただ伝わっている部分があるのだなと思いました。また、ある発表では、視覚障害の方は目が見えないため本を朗読することはできませんという話もありました。それも違うことを伝えました。CD ブックやネットで電子図書館から文書をダウンロードして聞くこともできる。映画館に行けないといった話についても、実際は副音声で画面の状況を伝えてくれるものもあるということもそこで伝えました。そのような日常のことを教えられなかったのかなという気がしました。今後は、他の講師ともしっかりと事前の打合せをして、児童たちに正しく伝えられるようにしたいとつくづく感じました。ただ、一方で、その中でも児童のみなさんはいろんなことを、目が見えないと信号がわからないなど、一生懸命考えて、まとめて発表してくれていました。本当にやってよかったなと感じました。

桑田部会長 私もちょうど小川委員の介助の仕方を児童に正しく教えているところを拝見しました。そのときに聞いていた児童はあらためて学んでいる様子がうかがえました。その内容を、その場で聞いているほかの児童や参加者にも正しく伝えられるということが大事なところなのではと思いました。間違っただ発表をして、それを受け取って、正しく教えてもらって、そのグループの児童は納得しているように見受けられました。一方で、ほかの参加者が正しく理解できていたかどうかというところは課題なのではと思います。

小川委員 (介添者) 児童がしっかりと講師の話を聞いていたということは感じました。付き添いをしている関係上もう少し細かいところまで話ができたらなとは思いましたが、参加ができないところもありましたので、悔やんでおります。次回はまた一生懸命やらせていただきたいと思っております。

町田委員 さいたま市聴覚障害者協会の町田です。ふれあい学習、学校周辺のまち歩き学習、学習発表会に参加をさせていただきました。ふれあい学習では、聴覚障害者の生活について説明しました。聞こえない人の暮らしについて説明をした後に、あいさつなどの手話について教えました。まち歩きでは、聴覚障害者には普段どのような危険があるのか、例えば、車が後ろから来ても気づかないので、声をかけてほしいといったことを伝えました。学習発表会では、小

学校4年生の児童ということでしたが、本当に工夫をこらしていてすごくいいなと思いました。説明するだけではなくて、車が後ろから近づいてくる様子を紙芝居で表すなど、すごく頑張ってくれたなとうれしく思いました。保護者もたくさん来てくれており、その中で発表ができていたのはとてもよかったと思います。一つ要望を言いますと、ふれあい学習では手話を教えました。学習発表会のなかでは手話を表してくれるところまではいきませんでした。「ありがとう」や「こんにちわ」だけでも、それを見た保護者が感じてくれることもあると思います。そのような機会があればよかったと思いました。本当に皆様お疲れさまでした。

桑田部会長 町田委員がおっしゃるように、児童がみな大変工夫しているということを感じました。手話については私も見受けられませんでした。今後、そのような児童が出てくることを期待したいと思います。

國松委員 この事業にずっと参加させていただいていますが、学校内で何度も同じことを言ったり聞いたりするわけですが、これが本当に大事であると思います。一度聞いただけではすぐに抜けてしまう。学習発表会では、声が聴きとりづらいことがあります。これは改善できると良い。また、まち歩き学習ではしっかりと取り組んでいる児童と、正直、遊んでしまっている児童も中にはいます。児童により差があることを感じました。話が違う方向に行ってしまう子については気になりました。この事業で一番いいところは、普段身近には接することが出来ない当事者の方が出向いて、児童に自分たちのいろんな問題について話をするといったことだと思います。最初は固いが、だんだん慣れてきてしっかりした自然な対応になってくる。何度やってもその流れがいいと感じています。

桑田部会長 委員のおっしゃる通り、我々についても何度も繰り返し機会を設けることで理解が深まるということについてはその通りであると思います。

鯨井委員 さいたま新都心のまち歩き以外は参加させていただきました。知的障害は伝えることが難しいと思っています。間違った理解をされることもあり、今回も難しさを感じました。知的障害は十人いればみな違うし、その日によっても特徴が違っていたりします。そのようにいろいろあるんだよ、ということをお伝えしたつもりでしたが、学習発表会では、知的障害の人はこうなんだ、といった発表もあったので、発表の時に改めて違うということをお伝えしました。また、学習発表会では声が聴きとりづらいと思いました。体育館の中でやるため、仕方のない部分はありますが、昨年度の海老沼小学校の時は、各特性1グループずつの発表であったのに対し、今回は各特性2グループずつの発表であったため、全体として発表するブースが増えていたことも一つの聞き取りづらかった原因なのではと思いました。ただ、雨の中、大勢の保護者の

方が集まっていたいただきそれはとてもよかったです。保護者の方とも話ができて、発表の前に児童からなにか聞いたりしましたか、など保護者の方とのやりとりもできて、とても良かったです。また、学習する学年は4年生くらいがちょうどよいのではないかと考えています。昨年度は6年生でしたが、6年生になるとこうだ、という自分の気持ちがある程度固まっていたりで、違うということを教えても、発表会のときにはネットで調べた情報を発表しており、教えていないことを発表していたのでとても残念でしたので、4年生くらいがいいと思っています。

桑田部会長 確かに私も体育館で発表会を聞いていたとき、運営も難しい部分はあるかと思いますが聞き取りにくいということは感じました。次回の課題の一つであると思います。

臼井委員 障害者(児)の生活と権利を守るさいたま市民の会の臼井です。わたしは年度の途中で前委員の平林委員と交代で参加させていただきました。学習発表会が初めての参加でした。あまり内容もわからず参加しましたが、ひとつ印象に残ったことは、児童のみなさんがそれぞれの目と耳で見聞きして、自分達の中で考えてくれたことがすごく微笑ましくもあり、頼もしくもありました。また、やはり発表は聞きづらいと思いました。一生懸命発表してくれているのに、児童たちもそれは同じ思いはあったかと思うので、それが残念でした。

宮澤 (Familish) ライフアシストファミリッシュの宮澤です。普段は介助者を派遣している事業所で、この事業では車いす体験をやらせてもらっています。やはり毎回の課題ではありますが、時間がどうしても短く、伝えきれないところがあります。体験だけで終わり、楽しかったで終わってしまうことも多いので、そこは今後我々の問題でもありますが、課題であると思います。また、学習発表会では、やはり聞き取りにくいところがありました。児童のみなさんは、私たちが気が付かないようなところも気付いて発表していたりもするのでしっかり聞けたりとか、発表する時間がもう少し長ければよかったですと思いました。

渡邊 (Familish) 車いす体験ではどうしても楽しかったで終わってしまうところがあるので、それ以外のところもしっかりとつたえていきたいと思いました。

阿由葉 (社協) さいたま市社会福祉協議会の阿由葉と申します。子ども達は春から初めて、まず気づきから入り、委員や講師の皆様のご協力の下、当事者の方の話を聞いて、発表をされていたのかと思うのですが、皆様おっしゃる通り、発表のブースが多く、わたしもいろんな発表を聞きたかったが、時間が足りなかったところがありました。ほか、児童はたくさん勉強してきたのだと思いますが、この機会以外ではどのようなことをやるのかということが気になりました。例えば、担任の先生のご意見も伺いたいと思いました。実際子どもたちがこれから町へ出て気付

いたことや、やってきたことを話すのだと思いますが、まずは児童が先生に話をして、間違っ
たことを言っていれば先生がそれを正すというようにすれば、先生も理解度が上がるのでは
と思いますので、先生の発表も欲しかったと思いました。

志満 (事業団) さいたま市社会福祉事業団の志満です。学校周辺のまち歩き学習で主に視覚障害について
参加をさせていただきました。まち歩き学習では、割りとハードルが少し低すぎたといいますが、
平坦であり、子ども達も安心して歩いていたのかなと思うところがありました。ただ、その
中で、目隠しをしながら「今どこ」「まわりになにがあるの」などのやりとりがありました。電柱
や段差があればもっとお互いに注意し合えたのではと思いました。4年生でもとてもしっかり
歩いて体験もしていました。サポートは十分ではなかったかもしれませんが、目隠しをする怖
さを体験したことで、見えてくる部分あると思いますので、このような活動は続けていくべきで
あると思いますし、4年生なりの体験ということで貴重なものになると思います。また、アンケ
ートを読ませていただいても、いろんな思いを感じ取ってもらえたのではないかと思いますの
で、ぜひ、この活動については続けて行ってもらいたいと思います。

田中 (事業団) ふれあい学習と、まち歩き学習に参加させていただきました。前回の学習ではもう少し段差
があり、今回は比較的平坦な道ではありましたが、実体験をするということは、子ども達の印
象に深く残っているのではないかと思います。このような取組がより多くの学校に広がってい
けばいいと思っています。

桑田部会長 一通りご意見をいただきましたが、いただいたご意見を踏まえながら、議事の(2)平成31年
度の事業について、事務局から説明をいただきながら議論を進めていきたいと思ひます。

(2)平成31年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業(案)について

事務局 資料2の説明(省略)

桑田部会長 ただいま事務局から説明がありましたが、来年度に向けての検討事項について、順にご意
見を伺えればと思ひます。

まず、ふれあい学習についてですが、児童の人数は今年度よりも少し規模が少なくなるとい
うことですが、進め方については基本的には今年度と変わらず進めていくということでのいいの
でしょうか。

事務局 はい。

桑田部会長 ほかにご意見はありますでしょうか。

続いて、まち歩き学習についてご意見はありますでしょうか。

- 國松委員 今年度はプラザイーストで実施するというのですが、実施時期が10月ということで、いろいろな行事が多い時期であると思います。そのような中で、見るべきところがしっかりと見られるのかという点が心配です。行って、その時のタイミングで見られないところは仕方がないではなく、肝心なところが見られないとあまり意味がないと思います。これをしっかりと確保してもらおうということを前提としてもらいたいと思います。ただ行くというだけでは消化不良になってしまうので、そこをお願いしたい。
- 事務局 今後プラザイーストで実施させていただく場合には、しっかりと施設等との事前の打ち合わせを行わせていただき、当日の見学ルートの設定をするなどして実施することとしたいと考えております。
- 臼井委員 まち歩き学習については、雨が降った場合でも実施するのでしょうか。
- 事務局 雨が降った場合の学校周辺のまち歩き学習の実施は難しいと思っています。昨年度については、雨が降った場合はふれあい学習の2回目が実施できるように各講師の方をお願いをするなど、準備をしておりました。今年度についてもそのようになるかと考えております。
- 臼井委員 その場合は学校周辺とプラザイーストとの比較はできないということでしょうか。
- 事務局 雨が降ってしまった場合には、やむを得ないものと考えています。
- 桑田部会長 これまでも過去に雨天となったことはありましたか。
- 事務局 ここ数年は降ったことはなく、まち歩き学習の実施ができています。今回は実施時期が梅雨の時期と重なってしまうことも考えられるため、学校との調整となりますが、可能な限り梅雨と重ならない時期にできればと考えています。
- 桑田部会長 これまではたまたま晴れていたということですが、準備としては、ふれあい学習の準備をしていたということですね。
- 國松委員 雨天の場合はどうにもならない部分があるが、例えば、プラザイーストへ行く方法というのがありますが、まち歩きはアクセスシビリティを学ぶということも一つとしてありますので、そこへ行くということも含めてやれるといいと思います。その分時間は取られてしまうこともあるかもしれませんが、少しそのあたりを工夫していただいて二つの面がやれるのではと思うので、少し考えてみていただければと思います。
- 桑田部会長 実施段階の案を練る中で、ただいまのご意見を考慮していただけるといいと思います。
- 事務局 学校とも調整させていただきながら、検討させていただきます。
- 鯨井委員 これまではさいたま新都心のまち歩きということですが、今回のプラザイーストですが、わたしも利用したことがあります。さいたま新都心と比べると見劣りする部分もあり、画期的な

設備があるという少し疑問もありますが、そのあたりはいかがでしょうか。

事務局 さいたま新都心の場合はまち一帯がハード面での整備が行き届いているという一方、今回は建物ということになりますので、そこが大きな違いであると思っています。実際に、比較可能な施設となっているかどうか確認のため、先日施設の下見に行っていました。施設内には点字ブロック、多機能トイレ、スロープ、ホール内の車いす利用者用スペース、エレベーター内の鏡などの設備がありました。児童が、バリアフリーについて感じ取れる内容はあるのかと考えております。

鯨井委員 人数は前よりも少ないかもしれませんが、こじんまりとした感じはするので、大勢で回って施設内を見るにはどうなのかなと思いました。

桑田部会長 事務局にそのあたりの事業を聞いたところ、さいたま新都心への移動時間の確保が学校側として難しいと聞いています。この施設内においてどのような工夫を凝らしながら、やっていけるかということが、課題であり、大事であると思います。

町田委員 7月であり暑い時期であると思いますが、熱中症などそのあたりは大丈夫でしょうか。

事務局 学校側へ熱中症等の部分についても確認をしながら実施時期についても検討してまいりたいと思います。

桑田部会長 開始時間なども含めて検討していくことが必要です。障害のある方も高齢者の方もいらっしゃいますので、そのあたりも配慮しながら進めていってほしいと思います。

ほかにご意見はありますか。

それでは、続いて学習発表会についてですが、声が聞こえづらいといった意見等についてはこの中でもとりあげられていますが、なにか工夫を考える必要があると思いますが、なにかその部分も含めましてご意見はありますか。

小川委員や鯨井委員から話もありましたが、児童が間違っただけの発表をするといったことがあったときに、どのように正しく伝えるか。児童たちに向けた伝え方の工夫が必要だと思われます。例えば、正しい内容について伝える方法として、班ごとへのフィードバックはやっていただいています。可能であれば全体へフィードバックする方法や機会があるといいと思います。間違っただけの知識がそのままになってしまわないようにすることが必要だと思います。当事者の方々の負担はあるかもしれませんが、最後に全体に話をするのも良いと思います。あるいは、発表会後に担任の先生との意見交換を行い、間違っていた内容について伝えるなど、運営方法の問題もあるため即答は困難だとは思いますが、そのようなことは可能でしょうか。

事務局 学校側と調整を行い、児童へ正しい知識が伝えられるよう、そのような機会を設けることについて、検討してまいりたいと思います。

小川委員 学習発表会で児童が発表すると、講師が間違っただけを教えたのではとわかってしまいます。もし可能ならば、講師が発表会前に少し早く来て、児童にも発表会前に来てもらい、事前に発表内容の確認を行い、講師がアドバイスを言う時間があったらいいと思います。先生方に後でお伝えしても、間接的になってしまうため、うまく伝わるかどうか難しい。障害に関しては先生もわからない部分があると思います。以前は、代表児童が体育館のステージに上がり発表をしていました。その方法はいいと思っていましたが、これは学校ごとの方針もあるのだと思いますが、何年か前から児童たちが一斉に発表をするようになり、どうかとは思っていました。この方法により、児童は勇気が持てた、自信が持てた、みんなの前で発表できたなどの意見はありましたが、どさくさに紛れてしまうところもある。ステージに上がって発表をすれば全部聞こえますし、その点もう少し煮詰めて考えていただけたらいいかと思います。聞こえない声は声ではないとも言います。その辺をもう少し学校側とも話をさせていただけるという案もあります。

事務局 以前は、確かにステージに上がって発表をしていたこともありました。今年度については学校側の意向もあり、全員発表ということで実施をさせていただきました。来年度については、現時点では全員が発表する形としたいとの学校側の意向があります。今年度実施した北浦和小学校の話では、全員発表にすることで、児童は自分が発表するとなると、それだけ各自真剣に調べ、取り組むといったメリットがあるということでした。そのため全員発表としたいということでした。今年度の発表方法については、ただいま小川委員からいただいたご意見について、これから打合せを進めていく中で、学校側へ話をさせていただきます。どのような発表方法にするのかということになるかと思いますが、どうしても時間に縛りがある中で難しいところがいろいろとあり、大変申し訳ございませんが、時間の範囲内で、できる限りのことをやっていければと思っています。

桑田部会長 例えば、児童が模造紙に発表資料を作成し、事前に写真を撮って送ってもらい、講師の方に見てもらうなども考えられると思いますが、今まで、児童の最終的な成果物というのは、あの場限りのものになっているのでしょうか。

事務局 はい。

桑田部会長 例えば、児童が作った内容を事前に写真に撮って送ってもらうなど、完全な解決にはならないかもしれませんが、事前に見るというような方法であればそれほど先生の負担にもならな

いと思われまし、なにかそのような方法を考えても良いのではないかと思います。ほかのやり方もあるかもしれませんが、いずれにしても間違っ知識がそのままにならないようにする改善が何かできればと思います。

臼井委員 ふれあい学習は主に質疑応答形式で特性を学んでもらう方法なのでしょうか。
事務局 学習方法については各講師の方々によって異なりますが、基本的には質疑応答の時間については設けていただいております。

臼井委員 児童が学んだことをまとめるにあたって、気づきとその解決方法などについて足りない部分が出てくるのかなと思います。児童たちがまとめる作業を行っていく中で、児童たちが疑問に思う部分を、例えば先生を通じて講師の方に回答を求めるといった方法もとれると良いと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 いただいたご意見については学校側と調整をさせていただきながら進めていきたいと思います。

桑田部会長 学校側との調整が必要ということですが、児童への正しい知識の伝え方について、ぜひ検討していただければと思います。ほかにはいかがでしょうか。

次に地域の方の参加を促す取組ということですが、なにかご意見はありますでしょうか。事務局として、なにか工夫をしている点はあるのでしょうか。

事務局 地域の方については、保護者の方、自治会の方、民生委員の方などいろいろいらっしゃるかと思いますが、地域の方の参加については、まずは保護者にご参加をいただき、一緒に学んでいただくことで、地域へ広げていければと思っています。来年度の大牧小学校については、授業参観日に併せて実施することについて了承をいただいておりますので、そこはしっかりと実施していきたいと考えております。

桑田部会長 来年度の進め方について大変大事なご意見もいくつかいただきましたので、これを踏まえたうえで学校側との調整をお願いしたいと思います。

3 その他

桑田部会長 「その他」になりますが、なにかありますか。

鯨井委員 何回伝えてもなかなか理解がむずかしいところがある中で、より、そのような場所や機会を提供するという意味では、障害者週間や市で行っている市民の集いなどの催し物などのお知らせを皆様にお伝えする機会がこの場でもあればと思っています。私達の団体では知的障害をもっているお子さんたちの紹介をしていますが、身近になるとよりわかるかと思いま

す。今後もそのようなことをお伝えしていきたいと思っています。

桑田部会長 活動内容を伝える機会を増やしていきたいというご意見かと思いますが、ぜひ、我々の方にもなにかの形でご連絡をいただければと思います。

4 閉会

以上